CITIZEN®

福島局・九州局対応
全国自動受信

電波時計
（掛時計）
取扱説明書

○○○　特　長　○○○

★時刻を電波で修正

日本標準時を乗せた標準電波を定期的に受信することにより、クオーツ精度で動いている時計の時刻を標準時に自動修正します。

★飛散防止処理風防ガラス使用。

ガラス裏面に透明フィルムを貼り、割れても大きな破片が飛びにくい安全設計です。

お問い合わせについて

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたら**お客様相談室**にお問い合わせください。
お買い上げの製品に関するお問い合わせにつきましては、製品の裏面などに表示してあります製品番号（型番）をご確認のうえ、お問い合わせください。
（例 . 4MY ○○○など）

お客様相談室　0120-557-005 (フリーダイヤル)
発売元 **リズム時計工業株式会社**
本社 〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町 1 丁目 299 番 12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZEN®はシチズン時計株式会社の登録商標です。

ご使用上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

禁止	この表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。
強制	この表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

誤飲による事故防止について

警告

小さな部品や小形の電池（ボタン形、コイン形および単４形、単５形など）は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

リチウム電池について

警告

●電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。

●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。　液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります

注意

●＋（プラス）、－（マイナス）を逆に接続しないでください。
●指定された電池を使用してください。
●使い切った電池は速やかに取り出してください。
●長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。

分解禁止

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

ご使用場所のご注意

下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

禁止

- 温度が＋60℃（60度）以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が－20℃（氷点下20度）以下になる所。（プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。）
- 温害が発生する所。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。（磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。）
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 常時、湿気の多い所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。
  （霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。）

お取り扱い上のご注意

注意

時計は精密機器です。また、外装部材にガラスなど衝撃に弱いものがありますので、落としたり、衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。また、破損した場合、人的・物的損害が発生するおそれがあります。

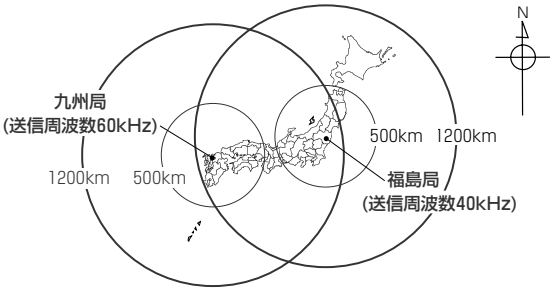
お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整（有料）をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

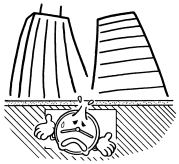
■ 電波時計について

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正して正確な時刻をお知らせします。
標準電波は、日本標準時(JST)をお知らせするために、通信総合研究所が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波の送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。
この時計は日本標準時のみに対応し、福島局または九州局を自動的に選択して受信します。
標準電波の詳細については、通信総合研究所のホームページをご覧ください。
(http://jjy.crl.go.jp)
受信できる範囲は、条件のよいとき、送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、**受信範囲であっても電波障害により、受信できない場合や誤受信することがあります。**



■ 電波を受信しにくい／誤受信しやすい環境について

受信範囲内であっても、設置場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件では受信できない場合があります。また、ノイズにより、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示することがあります。



ビルの地下や大型ビルの奥まった部屋など電波の届きにくいところ

工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所

電化製品やOA機器の近く、またはスチール机等の金属製家具の上や近く

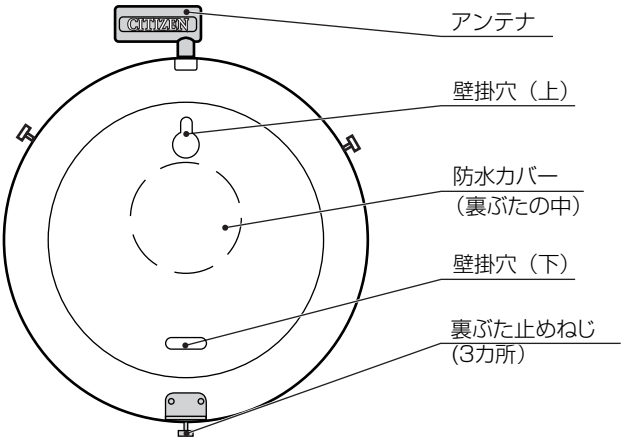
高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く

金属製の雨戸やブラインドの近く

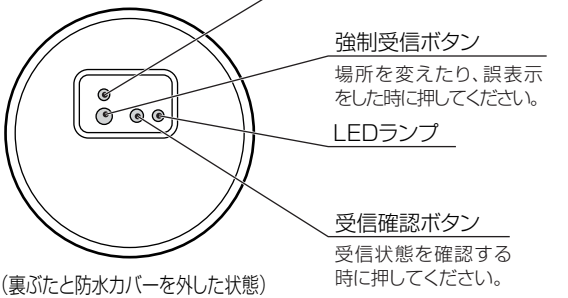
朝夕の時間帯、雨天のとき

■ 各部の名称と操作部の役割

図は操作説明用ですので、実際の商品とは操作部の位置やデザインが異なることがあります。

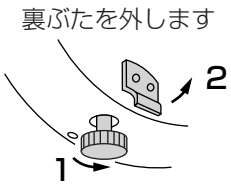


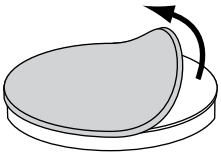
（時計裏面）

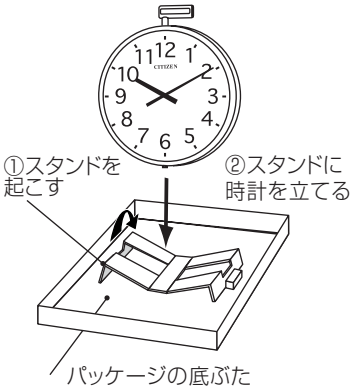


（裏ぶたと防水カバーを外した状態）

ご使用方法







1　裏ぶたを外します

1. 時計側面3カ所の裏ぶたの止めねじを回して外します。
2. 開閉用取っ手を引いて外します。

2　防水カバーを外します

3　設置場所の近くに仮置きします

実際の設置状態と同じ向きに垂直に立てて仮置きします。
※時計を梱包している箱を利用して立てかけることができます。

4　アンテナの向きを調整します

電波の送信所（取扱説明書の日本地図を参考）に、なるべくアンテナの正面または裏面（CITIZENの文字がある面）を向けます。

禁止　アンテナは前方向に180°しか回転しません。
無理に後ろに回すと破損します。

5　電波を受信します

強制受信ボタンを押すとLEDランプが点灯から点滅に変わり、受信状態になります。

6　2～22分間、そのまま待ちます

LEDランプが消灯するまで待ちます。
針が早送りで動き、時刻を指します。

7　電波受信の確認をします

受信確認ボタンを押します。

受信ができた場合

LEDランプが5秒間「**点灯**」します。これで受信完了です。

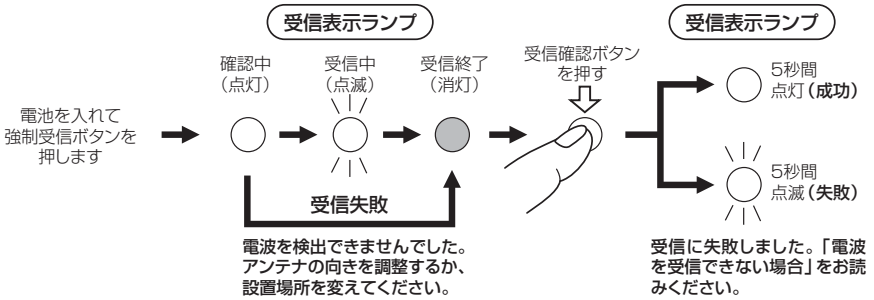
受信ができなかった場合

LEDランプが5秒間「**点滅**」します。「**電波を受信できない場合**」の方法でやり直してください。

8　防水カバーをしっかりとはめ込みます

注意　防水カバーをしっかりとはめ込まないと、防雨、防塵ができなくなり、故障の原因になります。

電波受信の流れ



※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

取付方法

禁止

時計上部のアンテナは持たないでください。
破損等の原因になります。

注意

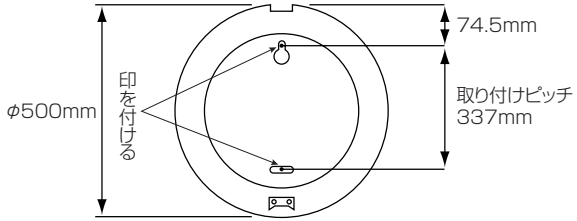
壁の構造、材質によっては、付属のボルトプラグまたは木ねじが、しっかり止まらないことがあります。時計を掛ける前に設置場所の強度をよく確かめてください。また、ボルトプラグや木ねじの止まり具合が不十分ですと、強風などで時計が落ちる危険がありますので、なるべく、最寄りの工務店、電気工事店にご相談の上、取り付けてください。

禁止

付属の木ねじ（木材用）は、しっくい、コンクリート、タイル、
土壁、石こうボードなどの壁面には、使用できません。

裏ぶたの設置方法

● 時計の取り付け位置を決め、上下2ヶ所に印を付けます。

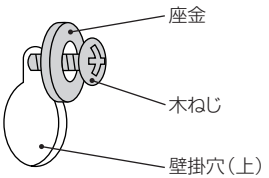


強制

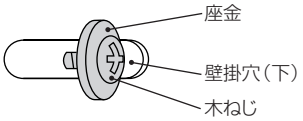
取り付けピッチは必ずお守りください。
誤ったピッチで取り付けると、時計が落下する危険があります。

壁面が木材の場合

1. 12時側の印を付けた所に、座金と木ねじで仮止め（壁面と座金の間をすこし開けておく）し、裏ぶたの壁掛穴（上）を掛けます。



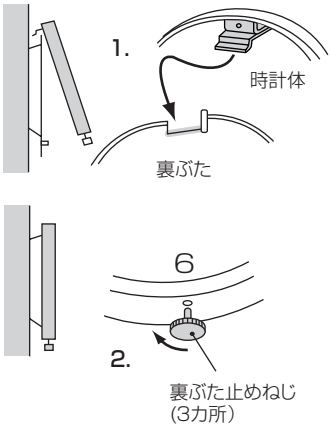
2. 裏ぶた全体を垂直にし、壁掛穴（下）を座金と木ねじで締め付けます。次に、壁掛穴（上）を締め付け、裏ぶたをしっかり壁面に取り付けます。



裏ぶたへの時計体の取り付け方

1. 裏ぶた上部の凹部に、時計体上部の凸部を引っ掛けます。

2. 時計体を裏ぶたにきちんとかぶせ、3カ所の裏ぶた止めねじを全体が均等になるように順に締めて行き、最後は、ねじが緩まないようにきつく締めます。



注意 時計体は、裏ぶたにしっかりと取り付けませんと、落下する危険がありますので、注意してください。

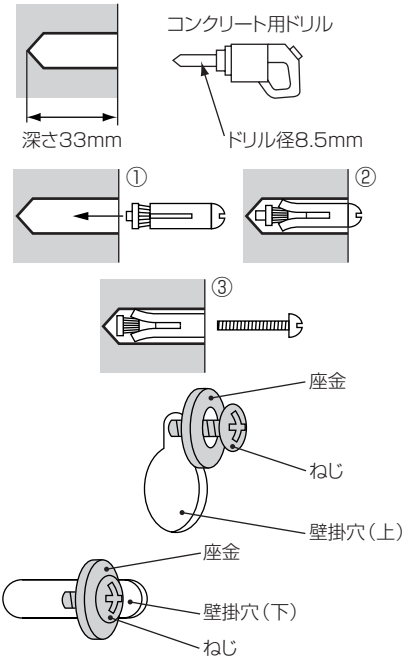
壁面がコンクリートの場合

1. 印を付けた所に、コンクリート用ドリルで穴を開けます。

2. ①ボルトプラグを根元まで差し込みます。
   ②ねじを強く締め付けると、ボルトプラグが開いて、壁面にしっかりと固定されます。
   ③ねじを引いてボルトプラグが抜けないか確認した後、ねじをいったん外します。

3. 12時側の穴に座金とねじを仮止め（壁面と座金の間をすこし開けておく）し、裏ぶたの壁掛穴（上）を掛けます。

4. 裏ぶた全体を垂直にし、壁掛穴（下）を座金とねじで締め付けます。次に、壁掛穴（上）を締め付け、裏ぶたをしっかり壁面に取り付けます。



電波を受信できない場合

●アンテナの向きを変える

●場所を変える

近くに障害物がある場合は、なるべく障害物の少ない所や見晴らしの良い所に設置場所を変更します。

●朝までそのままにしておく

夜間は電波状況が良くなるので、一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●針が12時で止まった場合

強制受信ボタンを押して、2～22分間そのまま待ちます。

電池の残量が少なくなると、時針・分針が反時計回りに動いたり、早送りで針が動いたままになることがあります。特に、「強制受信ボタン」を押したとき、あるいは自動受信したときに発生しやすくなります。このような場合は、新しい電池と交換してください。

手動で時刻合わせをする方法

受信できない場所及び地域の場合は、下記操作でご使用になれます。

※この場合の精度は、平均月差±20秒以内となります。

●手動で時刻を合わせる

※電池を入れた直後または受信ボタンを押した直後、針が早く回っている間は、手動で時計を操作することはできません。

時刻の合わせ方

手動時刻合わせボタンを3秒以上押すと、時刻の修正モードになり、針が動き始めます。
※1回押すごとに1分ずつ進み、押し続けると早送りになります。

Q&A　こんなときには

❶受信に成功してもテレビ、ラジオの時報または電話の時報サービスと合わない。

○時針および分針は、機構上目盛りに対して±３度以内の表示誤差があります。これは故障ではありません。

○ノイズにより、誤受信した可能性があります。強制受信ボタンを押して受信をさせてください。繰り返し誤受信する場合は、設置場所を変えてください。

❷なぜ、アンテナの正面または裏面を送信所の方向に向ける必要があるのですか

○ 受信用のアンテナが電波を受けやすくするためです。

❸急に電波を受信できなくなった。

○送信所の定期点検や落雷などにより停波(停止）する場合があります。停波についての情報は通信総合研究所のホームページをご覧ください。(http://jjy.crl.go.jp)

○近くにノイズの発生源がある可能性があります。ノイズ発生源から遠ざけてください。

❹この時計を海外で使用できますか

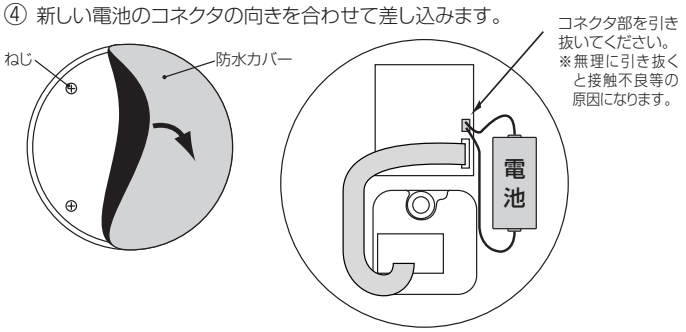
○この時計は、日本の送信局から送信される日本標準時を受信することができます。日本以外の国で送信されている標準時を受信することができません。まれに日本の標準時を受信し、日本の時刻を表示することがあります。また、ノイズにより誤受信して誤表示するおそれがありますので、海外でのご使用はしないでください。

電池の交換について

特殊な電池を使用していますので、一般店では販売しておりません。

●電池入手方法 ⇨「リズム時計お客様相談室(☎ 0120-557-005)」にご依頼ください。
●電池形式⟹高容量円筒型リチウム電池(三洋電機(株)製CR23500SEと同等品)
●外装型番⟹4MY611
●電池交換方法 ⇨ **なるべく最寄りの電気工事店などにご相談の上、電池交換してください。**

① 時計裏面中央にある防水カバーを外します。
② 時計機械部のふたを止めている4本のねじを外します。
③ 電池を接続しているコネクタ部を引き抜いて外します。
④ 新しい電池のコネクタの向きを合わせて差し込みます。



⑤ 時計機械部のふたを閉め、4本のねじで止めます。
⑥ 防水カバーをしっかりとはめ込みます。

他の部品には触れないように注意してください。
回路にキズをつけたり、ショートさせないようにしてください。

> ⚠ 警告 **電池は火中に投入しないでください。破裂する危険があります。**

自動受信修正回数について

条　件	受信回数
受信成功から 72 時間以内	最少　1 回／日 最多　3 回／日
連続 72 時間以上受信に失敗 始めから受信に失敗 手動で時刻合わせをした	12 回／日 （2 時間間隔）

製品仕様

時間精度	標準電波の受信に成功した場合の表示精度 時針・分針　目盛りに対して±３度 標準電波を受信できなかった場合 平均月差　±20秒以内　(常温)
使用温度範囲	－20℃～＋60℃
使用電池	高容量円筒型リチウム電池(三洋電機（株）製CR23500SEと同等品)
電池寿命	約10年間　(常温)
機能	電波受信確認用ランプ　(LED)付き
使用環境	屋外防雨型
前面透明カバー	飛散防止処理ガラス仕様

※時計に付いている電池は、工場出荷するときに入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※製品仕様は改良のために、予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

この掛時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この掛時計の修理用性能部品（電子回路・歯車等）は製造打ち切り後、７年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。
（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）